



第18回 消防防災研究講演会

火災原因調査への取り組みと調査技術の高度化

消防研究センター

消防研究センターでは、火災や漏洩事故の原因調査体制の整備を図り、長官調査の実務を担うとともに、消防本部の原因調査の技術支援を多数実施してきました。本講演会では、消防研究センターが実施してきた長官調査等、最近の火災爆発調査事例を報告するとともに、今後の火災原因調査技術の高度化に向けた取り組みについて議論します。

[主催] 消防庁 消防研究センター

[日時] 平成26年11月20日（木）10：00～17：00（第62回全国消防技術者会議の第1日目に開催いたします。）

[会場] 日本消防会館（ニッショーホール）

[定員] 600名

[参加費] 無料

[参加申込み期間] 8月18日（月）～11月17日（月）
（但し、定員になり次第締め切ります。）

[参加申込み方法] 消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。

申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。

<URL> https://ez-entry.jp/62_gijutsusha/entry/

なお、上記の方法により申し込むことが難しい場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

※詳しい情報については消防研究センターホームページにてご確認ください。URL: <http://nrifd.fdma.go.jp/>

問い合わせ先

消防庁 消防研究センター 研究企画室
〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3
TEL:0422-44-8331 FAX:0422-44-8440
E-mail:62_gijutsusha@fri.go.jp

[プログラム] (予定)

【開会挨拶】 10:00～10:05

【基調講演】 10:05～11:00

火災・爆発災害の燃焼現象としての理解－発生過程と被害拡大過程－ 土橋 律（東京大学）

【調査体制】 11:00～11:25

消防研究センターでの火災原因調査の実績と消防機関支援体制の紹介 山田 常圭（消防研究センター）

【平成26年度消防防災科学技術賞表彰式】 11:30～12:00

【休憩】 12:00～13:15（平成26年度消防防災科学技術賞受賞作品の展示発表）

【最近の調査事例報告】 13:15～14:15

① 福知山花火大会におけるガソリン携行缶による火災調査（2013） 西 晴樹（消防研究センター）

② 姫路市の化学工場爆発事故調査(2012) 塚目 孝裕（消防研究センター）

【調査結果の消防施策、消防活動への反映】 14:15～15:15

① 最近の化学プラント事故を受けての消防庁の対応 白石 暢彦（消防庁特殊災害室）

② 太陽光発電システムの火災危険性と消防活動上の対策 田村 裕之（消防研究センター）

【休憩】 15:15～15:25

【調査手法の多様化と技術の高度化】 15:25～16:40

① 分析機器の活用による火災原因調査の支援 尾川 義雄（消防研究センター）

② 素材の燃焼および火災実験による火災現象の解明 若月 薫（消防研究センター）

③ 火災再現シミュレーションを活用するための取り組み 阿部 伸之（消防研究センター）

【総合討論（質疑応答）】 16:40～17:00

【閉会】 17:00